

からは農工商連携がポイントだと思う。人が集まる機会をつくり研修や情報交換をし、また国の政策を活用しながら地域の活性化につながる政策提言を検討してほしい。

A…起業支援については、町も支援している。また農業後継者についての支援やふるさと納税による町の素材を活かした商品開発が多数行われるとともに、インターネットの活用で広く全国に周知された。今後も地域活性化につながる政策については提言していきたい。また6次産業化にむけた政策について、6月議会において小規模企業振興に関する条例を制定したことで、国の助成金を受けるための条件が整ったところである。

現在、商工会及びJAと連携をとり、販路改革の取り組みがされている。

Q…ビーチスポーツ大会が、大丸の会場で開催されているが、地元の人には認識されていない。国民体育大会ではビーチバレーが予定されているので、ビーチバレーを拠点とした環境整備により地元の活性化に取り組んでほしい。

A…昨年九州ビーチバレーリーグ戦の開幕戦を大丸で開催し、最終戦の開催も協議されている。また国体になれば全国から来場されるので、今後開催に向けて改善されていくと思われる。

Q…道の駅にカブトムシのオブジェがあるが、カブトムシの由来などないの看板等

よる説明が必要ではないか。

A…担当課に聞いた結果、由来はない。毎年夏休みに隣接の体育館において、「カブトムシ相撲大会」が開催されている。

日本で2番目に大きなカブトムシのミニメントである。建設当時は1位であったが、平成17年に2位となった。



大丸改善センターにて

Q…横瀬古墳の看板などは老朽化する前に早めの対策をしてほしい。

A…確認をしながら、対応していきたい。

Q…町立図書館のクロー

が7月から故障し、夏休みに入った子ども達や利用者がたいへん不便している。また壁紙もはがれた状態であるが改善が必要ではないか。

A…9月の補正予算に組まれて改善が図られる予定である。

Q…ふれあいの里公園は、家族連れの利用が多い。最近、公園内の砂場に猫の糞が混入している。砂の入れ替えや安全性を保ってほしい。

A…担当課に聞いた結果、清掃業務を業者に委託しており、砂場については週2回点検している。

Q…このような場に若い人が少ない。若い人も高齢な方も意見が言える政策をもってもらいたい。

A…今後は大崎町を背負っていく若い人の意見を

聞く場も必要と感じているので議会の方でも協議していきたい。

Q…昨年、多くのふるさと納税があったが、今後の使い道はどのようなようにされるのか。

A…約27億2千万円のふるさと納税があり、その6割が必要経費となり、残りが基金として積んでいる。今年度の予算では3億3千万円を環境の事業、観光地景観事業、子ども医療事業、教育事業、地域活力事業、定住促進事業分野等に活用されている。

Q…本町の青少年等の海外研修制度など、人材育成のための研修負担を軽減するためにふるさと納税を活用すべきではないか。

A…将来を担う子どもを育む施策に十分使ってもらおうと要望する。